

第 10 回プリオン専門調査会議事概要

平成 16 年 6 月 1 日（火）15：00～17：15

於：食品安全委員会大会議室

議事 1 我が国の BSE 問題全般について

- ・ 山本専門委員から、vCJD の流行拡大に関する予測（英国の事例）について説明。特に、流行の予測に必要な要件、逆解析法（推計方法の一つ）を取り上げ、疫学的知見からの説明の後、質疑応答。

我が国においては vCJD 症例がないため、逆解析法をそのまま利用することは困難であるが、不均一な要素を考慮するための一例として有益な知見であること、定量的方法と定性的方法を組合わせた議論が必要であることを確認。

- ・ 吉川座長から、食品安全委員会における直接的な問題として牛からヒトへのリスクが最も重要であること、英国の BSE 数及び vCJD 数の相関（均一）を用いた場合、我が国の vCJD のリスクは低いことが示されたが、不均一性を考慮する必要性が指摘され、今後さらに検討することとされた。

- ・ 厚生労働省から、と畜場におけるスクリーニング検査及び特定部位の除去等について、農林水産省から、トレーサビリティ、飼料規制及び死亡牛検査について説明。さらに資料又はデータが必要な場合には、今後、検討されることとなった。

議事 2 その他

- ・ 杉浦情報・緊急時対応課長から、平成 16 年 5 月 23 日から 28 日にわたって開催された国際獣疫事務局（OIE）の第 72 回総会について報告。